

社会科学学習指導案

日 時 平成 23 年 10 月 18 日 第 5 校時
学 級
授業場所
授 業 者

1 単元名 「身近な地域の歴史」

2 単元について

新学習指導要領において、歴史的分野については、我が国の歴史の大きな流れを理解させ、歴史について考察する力や説明する力を育てるため、各時代の特色や時代の転換にかかわる基本的な内容の定着を図り、課題追求的な学習を重視するとある。また、身近な地域の歴史学習などの中で、地域の歴史を調べる活動を通して、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身につけさせることが求められている。その際、調べて得た知識を自分の言葉で表現し、外に向けて発信する学習を重視させたい。そして、小中連携を考える上で、小学校において学習した歴史に関する知識や関心を生かすとともに、授業の形態や指導の方法などについても工夫し、小学校と中学校の接続が円滑に行われるようにすることもねらいとしたい。

本単元の学習内容は、学習指導要領歴史的分野のイにも示されているように、居住地域内を中心とした具体的な歴史事象を「調べる学習」を実施することにより、地域の人々の生活と生活に根ざした文化に着目することが必要である。自分の住んでいる地域の名前の由来、歴史的建造物、団地の成り立ちなど、自分の親も含めて、地域の方々にインタビュー活動をすることで地域に密着した社会科学学習にできると考える。本校敷地内にも歴史的な遺跡があったり、地域内の石碑などからも地域の歴史を見つけられる材料がたくさんある。調べるというよりも「みつけっこ」という感覚で自分の住んでいる地域に関心をもってほしいと思う。それが地域への愛着につながると期待している。

実際の歴史学習の授業では、言語力の育成を考えた歴史短歌作りやキャッチフレーズ作りなどを、授業の手段として活用し、歴史事象に対する興味・関心も高めていきたい。より体験的な学習活動を取り入れることで、歴史を身近なものとして考えさせたいと思っている。そして、調べたことや考えたことをパネルディスカッションや1分間スピーチなどのプレゼンテーション活動から表現することで、自己の表現力の育成にもつながると考える。課題に対する自分の考えに気づき、ワークシートに書いたり、意見を交流し合ったりして、発表することで言語活動の充実にも結びついてくると考える。

また、本校では、各教科で少人数学習を実施しており、社会科においてもいくつかの単元を抽出し、複数体制での授業を行っている。調べ学習や資料の提示、話し合い活動の支援など複数教員の指導に関しては学習効果が高いと考える。また、新聞やインターネット資料などを多く活用し、生徒にリアルタイムの資料や情報を提供していくことで、情報の収集や選択、活用する力を養う支援ともなっている。

歴史学習で生徒らは、小学校の既習事項における人物史や時代ごとの特定の出来事に関する知識を知っているが、大まかな歴史の流れ、時代の特色を言葉で発言するときに、知識が混乱していることも多い。これらを整理することは、中学の歴史学習において必要不可欠であり、さらに歴史事象に対する問いを考えさせ、探求心を高めていくことが必要である。

今回、本校の課題である小中連携も含めて、小学生も参加できる授業構成を考えている。同じ地域に住む人として、地域のことを考え、関心を持つことで、小中学生の意見交流をしていき、今後の授業交流への発展につなげていければと考える。

3 生徒の実態（省略）

4 指導目標

- (1) 身近な地域の歴史や伝統・文化に対する関心を高め、意欲的に学習しようとする。
 <関心・意欲・態度>
- (2) 身近な地域を調べる活動を通して、地域と日本の歴史とのかかわりを時代背景をとらえ、考えている。
 <思考・判断・表現>
- (3) 身近な地域の歴史に関する様々な資料やインタビューから得た結果を読み取ったりまとめたりしている。
 <資料・活用>
- (4) 身近な地域の具体的な事柄とのかかわりから、地域の歴史的時代背景を理解している。
 <知識・理解>

5 指導計画（8時間扱い：本時は7／8）

主 題	学 習 内 容	単 位	留 意 点
自分の住んでいる地域について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・学区、地域の確認 ・新旧地形図の読み取り 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県地形図から千草台中学区や自宅の位置を確認させる。 ・新旧地図から地域の変化を時代ごとに読み取らせる。
学習の進め方の確認と学習計画を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに学習課題を決める。 ・調べる内容を考える。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住んでいる地域から事前調査の内容を出し合う。 ・地域で興味を持ったことや疑問に思ったことから学習課題を決めさせる。
地域に出て、資料を収集しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内のフィールドワークを行う。 ・ゲストティーチャーとの意見交流 	1 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・地域調べを行い、フィールドワークを通じて調査内容を整理する。 ・ゲストティーチャーを招き、地域の話聞くとともに意見交流をする。
資料の分析とまとめをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・資料をまとめ、グループ内で話し合う。 ・さらなる学習課題を見つける。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の予想と調査内容を照らし合わせ、さらなる疑問点を抽出する。 ・自己の考えの構築や変容に着目させ、課題についてグループ内で意見をまとめさせる。
地域発表の準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・資料情報の精選 ・パネラーの決定とグループとしての意見整理 ・発表リハーサル 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・発表用の資料を精選し、発表原稿を作成する。 ・わかりやすく伝えるために掲示物や画像を取り入れ工夫させる。

地域の歴史について学び、意見交流をしよう。	・地域発表を通して、地域に関する互いの意見交流をする。	1 本 時	・パネラーを中心に調べたことをわかりやすく伝えるよう支援する。 ・調べた材料を元に、他からの質問に対して、答えられるような準備をさせる。 ・地域への愛着をもてるような発表、発言を考えさせる。
地域に関心を持ち、キャッチフレーズ(俳句)を考えてみよう	・地域の発展的な未来を考える。 ・地域のキャッチフレーズ(俳句)を考える。	1	・身近な地域学習を通して、地域の歴史に触れ、地域への愛着を感じられるようなキャッチフレーズを考えさせる。 ・俳句の意味から地域を自慢する内容を考えさせる。

※「総合的な学習の時間」や放課後の活動を活用することもある。

6 評価

観 点	評 価 の 内 容	評 価 方 法
社会的事象への関心・意欲・態度	・地域の歴史について、興味・関心を持ち意欲的に調べ、発表しようとする。 ・地図やインタビューなど、資料などから地域の歴史について積極的に調べようとする。 ・地域の歴史に関する学習計画を立てることができる。	・観察、発言 ・ワークシート
社会的な思考・判断・表現	・様々な資料から、地域の歴史に関する自分の考えを整理してまとめることができる。 ・話し合い活動を通して、自分の考えや他のとの意見交流ができる。 ・地域の一員として、地域の関心を持つようなキャッチフレーズ(俳句か短歌)を考えることができる。	・ワークシート ・観察、発言 ・話し合いのようす ・発表資料
資料活用の技能	・地図資料から地域の歴史や移り変わりをとらえることができる。 ・資料等からワークシートや発表原稿にわかりやすくまとめることができる。	・地図資料 ・ワークシート
社会的事象についての知識・理解	・地域の歴史を考える上で、時代背景と照らし合わせることができる。 ・地域の名前の由来や成り立ちを理解できる。	・ワークシート ・定期テスト

7 本時の指導

(1) 本時の内容

- ・地域の歴史について、さまざまな見つけ合いから意見交流をしよう。

(2)本主題の目標

- ・身近な地域の歴史について興味や関心を高めることができる。

＜関心・意欲＞

- ・地域調べの発表から自分の考えを工夫して伝え、他の意見を聞くとともに、質問に対応することができる。

＜思考・判断・表現＞

(3)本時の展開

時配	学習内容と活動	小学生の動き	教師の支援	評価の観点
導入 10分	○教師から前時までの流れを聞き、写真資料に着目する。 地域の写真：地蔵、天覧台 校内の石碑、川光倉庫、 白旗神社など	○今日の授業の説明を聞く。 ○写真資料から知っていることを確認する。	○写真・資料を見せることで、地域に対する関心を高めさせる。 ○小学生からの発言も受け入れられる。 ○この時点では答えは出さない。	
展開 30分	○学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">学習課題 地域の歴史について、さまざまな見つけ合いから意見交流をしよう。</div> ○司会及びパネラーを選出し、意見交流の準備をする。 ○パネラーが自分たちの意見を述べる。 Aグループ：天台 Bグループ：萩台 Cグループ：千草台 それぞれが地名の由来やインタビュー結果、不思議スポットなどを紹介する。 紹介した事柄に関係する時代を年表黒板で提示する。 ○パネラーまたは聴衆者がそれぞれに質問をする。 ○パネラーが、地域の課題や今後の地域の未来について意見交換をする。 ○各グループの発表をもとに、	○中学生の発表を聞き、地域に関する関心を高める。 ○クイズがあれば積極的に答える。 ○発表や地域に関して知っていることや疑問に思うことを考える。 ○地域に関するイメージや授業でわかっ	○3つの視点（千草台・萩台・天台）から地名の由来を考えさせる。 ○各グループの発表に際し、調査資料やインタビューに基づいた発言とわかりやすく伝えるという点を重視するよう指示をする。 ○それぞれの地域別発表が、歴史的にいつの時代に関係しているかを考えさせる。 ○パネラー同士以外でもフロア席からの意見を受け容れるよう、机間指導しながら支援する。（T2） ○特にゲストとして参加している小学生からも質問等を募る。 その際、制約は設けず、できるだけ自由な発言ができ	○地域の歴史発表に関心をもちことができる。 (関心・意欲) ○意見交流に参加し、他の意見と自分の考えを比較できる。 ○質問等に対して対応している。 (思考・判断・表現)

	地域のことを考えた キャッチフレーズ（俳句） を考える。	たことを俳 句で表現す る。	る雰囲気をつくる。	
まとめ 10分	○次時の予告を聞くとともに、 個々に考えたキャッチフレ ーズ(俳句)を提示する。	○できあがっ た俳句をみ んなで見て ふり返る。	○ワークシートに次時に作成 する キャッチフレーズの 構想を考えるとともに、今 日の授業のふり返り書かせ る。 ○考えたキャッチフレーズを いくつか発表させる。 ○小学生からも意見を募る。	○地域につい てキャッチフ レーズを考え ることができ る。 (関心・意欲)

(4) 本時の評価及び方法

- ・身近な地域の歴史について興味や関心を高めることができたか。

< 関心・意欲 > < 観察・発表・ワークシート >

- ・地域調べの発表から自分の考えを伝え、他の意見を聞き、対応することができたか。

< 思考・判断・表現 > < 観察・発表 >

< 体育館での会場図 >

